# 牛活支援

# 暮らしの困りごとに"ちょこっと"安心をお届けしたい

#### 東近江市



### ■活動内容

誰もが安心してくらし、気軽に「助けて」と言えるまちを目指して活動しています。 ふだんのくらしの中での"困った"の解決にむけてお手伝いします。

○主なサポート内容

話し相手、散歩の付き添い、ゴミ出し、草刈り、部屋掃除、家具の移動・運び出し 買い物の補助、薬もらい…など、ケース毎に相談・検討し対応しています。

○サポーター活動協力金等

1時間以内の活動は、100円×活動したサポーター人数の金額をお願いします。 1時間を超える場合、30分ごとに50円×活動サポーター数の追金をお願いします。 その他活動に必要な資機材等の費用は、依頼者に実費を負担いただきます。

○懇談会

サポーターが楽しく活動を続けていけるように、毎月第4火曜日に開催し、継続・新規依頼の調整や、活動しての思いなどをメンバー間で共有しています。

■団体名

ちょこっとサポートのとがわ

■参加者

ちょこっとサポートのとがわサポーター(能登川地区住民)

■活動拠点 連絡先 東近江市社会福祉協議会 能登川事務所

住所:東近江市猪子町124番地(能登川保健センター内)

TEL: 0748-42-8703 IP: 050-5802-2989



平成25年の「生活支援サポーター養成講座」の受講者が、能登川地区で身近な 支え合いができないかと話し合ったのがきっかけです。お互いの活動に対する思い や、目標などの目線合わせをしたり、能登川地区の困りごとを福祉専門職や民生委 員などから聞き、それに対して自分たちにできることを話し合いました。

何度も話し合いを重ね、自分たちが無理なく楽しんですることを大切にして、くらしのちょっとした困りごとのお手伝いをする「ちょこっとサポートのとがわ」の活動を、平成27年よりスタートしました。当初は4人のメンバーでしたが、知人などへの声かけにより増減があり、現在は登録メンバー13名で活動しています。

ケアマネジャーやホームヘルパーからの依頼が多く、他にも市の地域包括支援センター、民生委員・児童委員、依頼者本人から相談を持ち込まれることもあります。





# 利用者さんの声

#### ■本人

- 「ありがとう」
- 「手伝ってもらえて、嬉しかった」
- 「また来てね」
- 「もう帰るの?寂しい。もう少し一緒に話をしていたい」
- ・「生姜を植えるのを手伝ってもらえて助かった。何もお礼 できないが、ちょっとしたお菓子だけでももらってほしい」
- ■本人家族(散歩・お話し相手)
- 「ありがとうございます。少しでも気が休まるので助かります」

# 活動者の声

- ・依頼者からの感謝を表す言葉や笑顔が、活動者 の喜びや生きがいにつながっており「自分でも役 に立てているんだ」との活動者自身が安心感や充 実感を感じられるところは、大きいと思います。
- ・様々な生活実態があることを知って、経験と知識を積むことができています。
- ・定期的な継続事案では「変わらず元気にされているかな…」や「またあの笑顔に会える…」と楽しみの感情が沸いてきます。
- ・利用者の生活状態の変化にも気づけるので、利用者の見守りにもつながっていると思います。

#### ■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

- 一人でもメンバーを増やしていきたいです。
- ・通院や買い物への送迎について、当グループでは、交通事故等の懸念から活動を見合わせていますが、いずれ実現につなげていきたいと思っています。
- ・ボランティアである以上無理や背伸びをせず、できないことはできないと伝え、できることは「この程度ですがよろしいですか?」の了解を求めています。活動の判断をする上で、必要に応じて本人と面談を行っています。また、自分たちでは対応できないことについては、行政や民生委員・児童委員、自治会役員などへもつないでいます。
- ・月に1回の懇談会で、活動をしての悩みやまずかったこと、良かったことなどをメンバー間で共有し、次の活動につながるように心がけています。